

きこえないってどういうこと？

親子で手話体験!!

令和5年度 福祉教育親子参加講座

だれ誰かとコミュニケーションをとるときに、どのようなことを

たいせつ大切にしていますか？

こうざこの講座では、しゅわたいけん手話体験を通じて他者へのつう共感と理解の

たいせつ大切さについてまな学んでいきます。

ふくし「福祉」とは何か」「な障がい」とは何か」「しやう伝えることの

たいせつ大切さ」…改めて親子で確認していきましょう♪



令和4年親子参加教室の様様



日時



令和5年 **10月28日(土)** 10:00~12:00 (9:45~受付)



会場 **福祉パルたま 研修室**

多摩区登戸 1891 第3井出ビル3階

(JR南武線登戸駅下車徒歩10分、小田急線向ヶ丘遊園駅北口下車徒歩3分)



参加対象・定員【応募者が定員を超えた場合は抽選】

30名 (区内在住の小学生と保護者) ※1~3年生は必ず保護者同伴



内容

- ・「聴覚障がい」ってどんな障がい？
- ・どうやってコミュニケーションをとるの？
- ・手話をやってみよう！



申込

FAX、メール又は来所で受付

10月6日(金)締切

(裏面の申込書をご使用ください。)

■主催 川崎市多摩区社会福祉協議会 福祉教育推進委員会 ■協力 手話サークル 山びこ

【お問い合わせ・申込み先】 川崎市多摩区登戸1891 第3井出ビル3階 福祉パルたま内

電話：044-935-5500 FAX：044-911-8119 メール：tamaku@csw-kawasaki.or.jp



手話は世界共通？いいえ、違います。

日本には日本手話、アメリカにはアメリカ手話、韓国には韓国手話があり、それぞれの国の文化や歴史によって手話が違います。

写真①は日本手話の「ありがとう」

おすもうさんが手刀を切る様子です。わからなければおうちの人に聞いてみてね！

写真②はアメリカ手話の「サンキュー(ありがとう)」

投げキスをするように口元の手を動かします。アメリカにはキスやハグの文化があるから、この手話なんですね！



写真①



写真②

★FAX 申込みの場合は、必要事項をご記入の上、送信してください★
川崎市多摩区社会福祉協議会 福祉教育担当宛 / FAX 番号：044-911-8119

【 令和5年度 福祉教育親子参加講座 申込書 】

申込締切日：10月6日（金）必着

ふりがな				性別
氏名				男・女
住所	〒 -			
電話		F A X		
学校名		学 年		
同伴者				
備考	※受講に対して配慮が必要なこと等がありましたらご記入ください。（参加の可否には影響しません）			

※1～3年生までは、必ず保護者の方が同伴してください。

※申込締切り後、郵送で参加の可否及び詳細をご連絡いたします。